



# 筑紫野市 開始 60 周年 水道事業

## 記念コラム 「水道水源」すいどうすいげん

市の水道事業が始まった当初、水源は水呑ダムだけでしたが、水需要の拡大に対応するために水源を増やし、現在は4つの水源で運営しています。

### 市が直接管理する水源

- 水呑ダム 山口浄水場で浄水し供給しています。
- 地下水 常松浄水場で地下水を浄水し供給しています。この二つの水源で、市全体で使われる水の約12%を賄っています。残りの約88%は浄水受水(浄水場で作られた水を買うこと)により賄っています。

### 浄水受水の水源

#### ● 山神水道企業団から

山神水道企業団は筑紫野市と太宰府市、三井水道企業団で構成される団体で、山神ダムの水を市内の山神水道企業団浄水場で浄水し、各水道事業体に供給しています。

#### ● 福岡地区水道企業団から

福岡地区水道企業団は、筑紫野市を含む福岡都市圏の15の市町などで構成される団体で、主に筑後川の水を大野城市の牛頸浄水場で浄水し各水道事業体に供給しています。

このように、市の水道は、雨はもちろん、川や地下水などが水源になっています。私たちの暮らしは自然の恵みによって支えられていると言えるのです。

- 問い合わせ先 上下水道料金総務課(上下水道庁舎内)

☎ (923) 7113